

道

2023・9・6

通信 No 1748



うしほぐさ

今日の練習曲 6時半～8時45分 岡野中学 清水・小坂先生

バイカル湖のほとり (2 - 42) 山のロザリア (P) 広きドニエプルの嵐 (P) ロシア民謡メドレー

次週9月13日の練習曲 6時半～8時45分 (岡野中学) 小坂・二宮先生

せわしき流れの河 (P) 美わし春の花よ (5-10) ぶどう色のショール (5-68) 黒い目 (4-32) やなぎ (P)

《岸本力さんのリサイタル行ってきました》

来年の演奏会のゲストに予定されている岸本力さんのデビュー50周年記念のリサイタル(東京文化会館小ホール=上野公園, 9月4日)に行ってきました。

会場は3分の2くらいの座席が埋まり、盛況でした。

今年はラフマニノフ、チャリアピンの生誕150周年とのもので「ラフマニノフとロシア民謡」がテーマでした。ラフマニノフは難しい(先入観?)ことと、MC無しでロシア語で淡々と歌われるため始まりはノリが今一つでしたが、「トロイカ」「バイカル湖のほとり」「ピョートル街道に沿って」などおなじみの曲では客席からも手拍子がでたり、曲ごとに拍手が出たりしました。

伴奏のピアノ、バンドネオンも素敵でした。年齢を感じさせる場面もありましたが十分な声量で、音楽堂も鳴らしていただけると期待できました。

アンコールは「黒い瞳」。コロナの影響でロビーでの見送りは省略とのことでした。岸本さんの経歴をみると、オペラにも多数出演したとか、来年の「道」の演奏会では何か注文しようかなどと考えながら雨上がりの帰路につきました。(石田 勉)

岸本力さんのリサイタルはラフマニノフもロシア民謡も原語でした。「道」の演奏会では日本語でお願いしたいです。声はバスで延びのある声でしたが暗いです。

岸本力さんの書かれた随筆を頂いてきました。その中に筆者紹介がありましたのでご紹介します。以下(筆者紹介)より抜粋

1947年茨木市生まれ。東京芸術大学卒業。同大学院修了。1972年第41回日本音楽コンクール第1位。1973年日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でバス歌手としてデビュー。

1984年文化庁芸術祭優秀賞。2010年文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月17日、ロシア大統領メドベージェフより、日本人歌手として初の「プーシキン・メダル」(ロシア文化勲章)を受賞。2023年海洋立国懇話会に入会。(松本豊美)

会議予定 運営委員会 9月6日(水) 14時半～ 県民サポートセンター